

## 試験科目及び配点について

### 【行政】

	行政Ⅰ		行政Ⅱ		行政Ⅲ	
1 次試験	教養試験	15 点	教養試験	30 点	基礎能力試験 (SPI3)	—
	専門試験	30 点	論文試験	15 点		
2 次試験	論文試験	10 点	—	—	論文試験	25 点
	口述試験 (個別面接 2 回)	45 点	口述試験 (個別面接 2 回、 集団討論)	55 点	口述試験 (個別面接 2 回)	75 点
	適性試験	—	適性試験	—	適性試験	—

※個別面接では、主として人物評価のための面接を実施します。ただし、「行政Ⅲ」で実施する個別面接のうち 1 回はアピール審査型の面接を行います。

### 【土木】

	土木Ⅰ		土木Ⅱ	
1 次試験	教養試験	15 点	基礎能力試験 (SPI3)	—
	専門試験	30 点		
2 次試験	論文試験	10 点	論文試験	10 点
	口述試験 (個別面接 2 回)	45 点	口述試験 (個別面接 2 回)	90 点
	適性試験	—	適性試験	—

※「土木Ⅰ」の個別面接では、主として人物評価のための面接を実施します。  
「土木Ⅱ」の個別面接では、主として人物評価のための面接と専門性審査のための面接を各 1 回実施します。

#### 【合格者の決定方法】

「行政Ⅰ」「行政Ⅱ」「土木Ⅰ」は全試験科目を総合的に判定し、高点順に最終合格者を決定します。  
「行政Ⅲ」「土木Ⅱ」は、基礎能力試験 (SPI3) の標準得点の高点順に第 1 次試験合格者を決定し、最終合格者は第 2 次試験実施科目のみを総合的に判定し、高点順に決定します。(第 1 次試験の結果 (基礎能力試験の標準得点) は引き継ぎません。)